

我がマラソン人生に悔いはなし

No.35 長島 晃(69歳)

今年の第16回「川の道」フットレースフル503kmの部で、10回の完走を成し遂げることができました。

思えば、初参加の第3回(ハーフ270km)から今回の大会まで連続出場を果たし、その戦績結果はフル10回、ハーフ2回、リタイア1回、交通事故発生の為途中大会中止(第7回)。これが私の記録です。

この大会を初めて知った時、まずは前半のハーフ(荒川河口～小諸270km)に参加しゴールできたら、翌年、後半の小諸から信濃川河口までを走り、それが完走できたらフルに挑戦してみようと3年計画で挑みました。

幸いなことに最初のハーフ参加で思わぬ好成績をあげ総合3位入賞し、舘山誠代表から副賞の「お米・金芽米」をいただき、バックに詰めて帰りました。ずっしりと重かったが大いに心は弾みました。

そして、翌年の後半ハーフの計画を変更し、早速フルに挑戦しました。その第4回(2008年フル)で「川の道」の本当の素晴らしさに出会ってしまったのです。

39歳から走り始め、40歳になったら42.195kmを走り切れる身体を作り、人生のメモリアムを残したいと考えホノルルに挑戦し、4時間20分で無事完走を果たしました。それが私のマラソン人生の始まりでした。

そして、走り始めて15年目に「川の道」に出会いました。そこで走りながら、「そうか、私はこの大会に出会うために今まで走り続けて来たのだ」と気付きました。太平洋から日本海までの道のりを決められた時間の中で、思う存分自然と向き合いながら走り切る、これこそが私の求めてきた大会だと感じたのです。

それから毎年参加し、時には完走後疲れ果てて「来年はもう参加しません」と宣言しつつ、ついにこんな記録まで達成してしまいました。これまで私を見守ってくれたスポーツエイドジャパンのスタッフの方々には本当に感謝です。また、今まで出会ったすべての優しきランナーへも「ありがとう」を言いたい。

これからはこの経験を活かし、一人でも多くの参加者が完走の喜びを味わえるような道標となり、心迷うランナーへの励ましを忘れず、助け合い、喜びを分かち合いながら川の道ランナーと共に走り続けていきたいと考えています。

川の道完走の喜びにあふれ、日日是好日。

2021年5月吉日、自宅にて